

人を豊かに、地球を美しく

松田産業株式会社 会社説明会



松田産業株式会社 (証券コード：7456)

2023年8月24日





本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を追求ものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

<お問い合わせ先>

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム : <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

| | | |
|----|------|-------|
| 1. | 会社概要 | P. 4 |
| 2. | 事業概要 | P. 10 |
| 3. | 業績推移 | P. 22 |
| 4. | 成長戦略 | P. 28 |
| 5. | 株主還元 | P. 35 |

1. 会社概要

企業理念

限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献する

貴金属関連事業

貴金属などの資源リサイクルで
循環型社会の構築に貢献



食品関連事業

安全安心な食材の安定提供で
人の豊かさに貢献



持続的成長
サイクル

事業機会
拡大

社会課題
解決に貢献

貢献できるSDGs



| | |
|-------|---|
| 会社名 | 松田産業株式会社 |
| 本社所在地 | 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル6F |
| 設立 | 1951年6月 |
| 代表者 | 代表取締役社長 松田 芳明 |
| 資本金 | 35億5,920万円 |
| 株式 | 東京証券取引所プライム市場（証券コード：7456） |
| 従業員数 | 1,605名 |
| 売上高 | 3,510億円 |
| 事業内容 | 貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、産業廃棄物の収集・運搬・処理、食品加工原材料の卸売 等 |
| 事業所 | <p>[国内事業所] 本部、北海道、宮城、茨城、東京、埼玉、神奈川、長野、静岡、愛知、大阪、石川、愛媛、広島、福岡、鹿児島</p> <p>[生産技術拠点] 埼玉県入間市、岐阜県関市</p> <p>[海外拠点] シンガポール / タイ(アユタヤ・ピントン・バンコク) / フィリピン / マレーシア / 中国 / ベトナム(フンエン・ホーチミン) / 台湾 / 韓国 / インド</p> |
| 関係会社 | マツダ流通(株)、マツダ環境(株)、日本メディカルテクノロジー(株)、北海道アオキ化学(株)、ゼロ・ジャパン(株)、ガルフ食品(株)、日鉄マイクロメタル(株) |

(2023年3月31日時点)

Our Origin

はじまりは

もったいない精神



チャレンジ精神

1935

写真感光材料



もったいない精神
チャレンジ精神



銀地金



資源の有効活用

貴金属関連事業の創業

1948

マヨネーズ工場の卵白



もったいない精神
チャレンジ精神

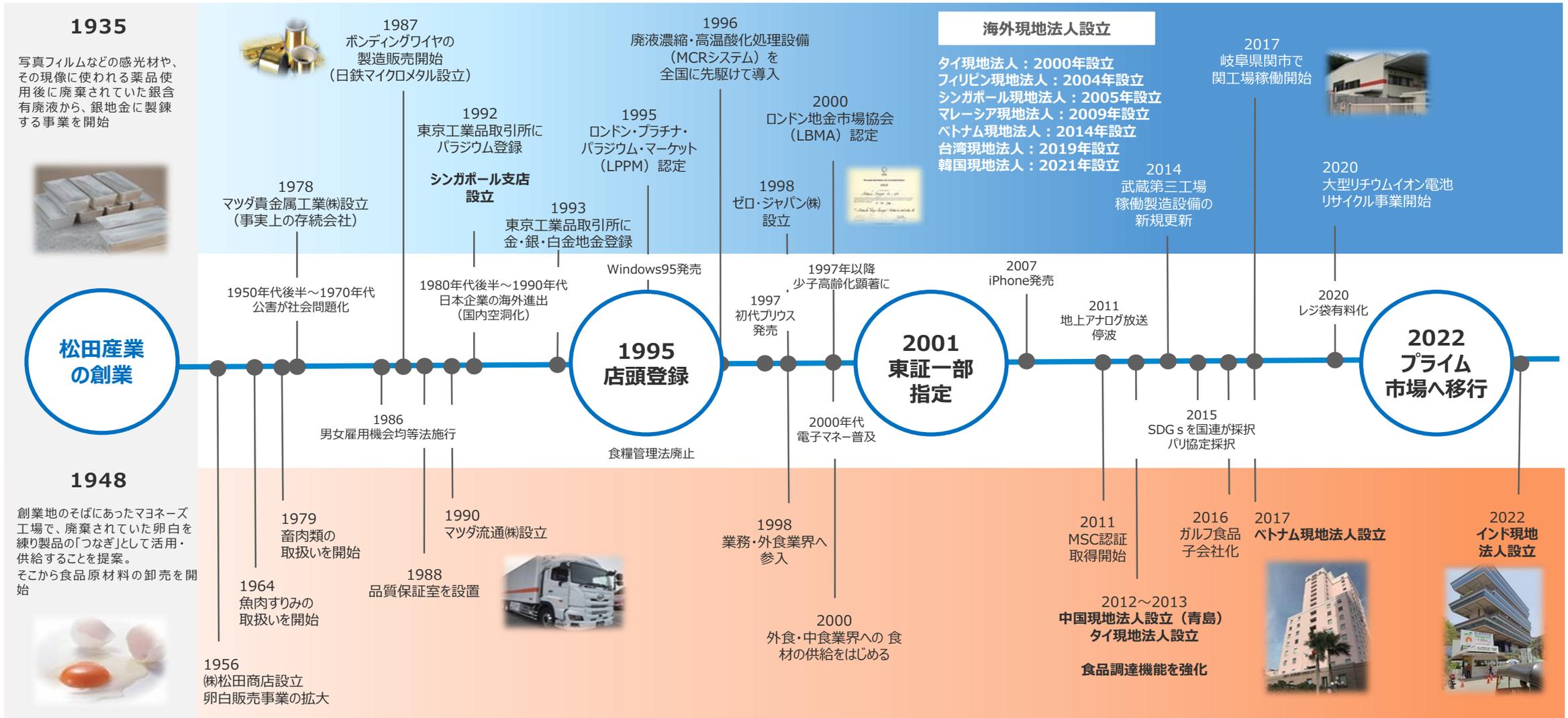


練り製品の「つなぎ」

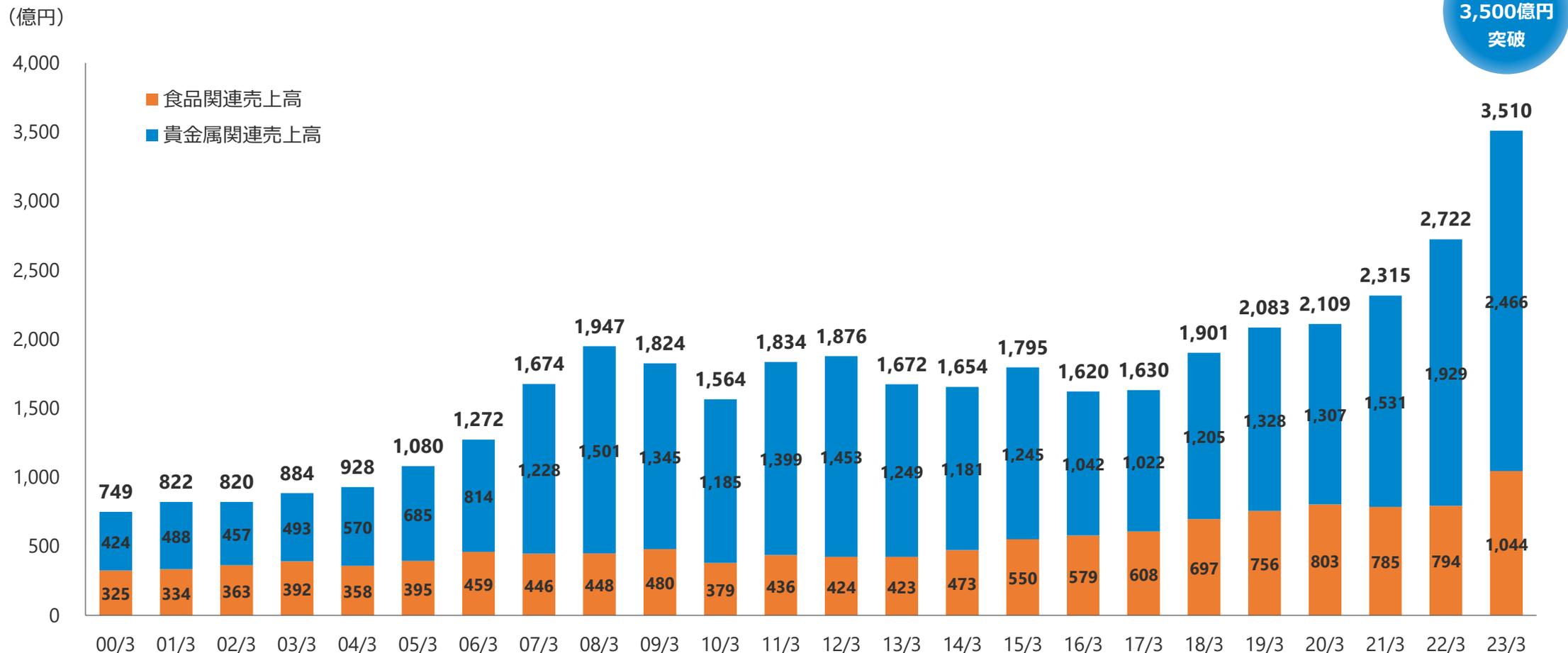


資源の有効活用

食品関連事業の創業



社会の変化とともに、持続可能な成長軌道を実現
23年3月期では過去最高の業績を更新（売上高3,500億円を突破）



2. 事業概要

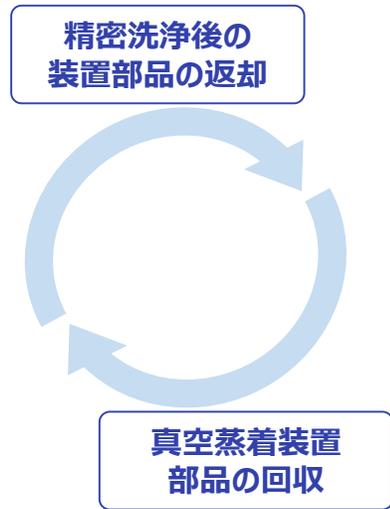
Vision

資源循環(活用)を創造するリーディングカンパニー

貴金属含有スペックアウト品等から高い回収率で貴金属を回収し、多様な貴金属製品を提供することで、資源リサイクルに貢献



真空蒸着装置の部品・治具等を回収し、高度な剥離・洗浄技術によってクリーンな状態に再生し、
更に剥離物をリサイクル



高度なリサイクル技術から生み出された貴金属地金は、MATSUDAブランドへの信頼によって世界で流通

ブランド登録市場

東京工業品取引所

LBMA
(ロンドン金銀市場協会)

LPPM
(ロンドンプラチナパラジウム市場)



金地金



銀地金



LBMA認定証

全国をカバーする許認可網と収集運搬ネットワークで環境保全活動を強力にバックアップ



PCB（ポリ塩化ビフェニール）収集運搬
34都道府県でのPCB廃棄物の
収集・運搬事業を展開



廃酸・廃アルカリの無害化処理技術
(1996年に日本初の大規模な陸上処理施設を導入)

物流・
積替
保管



仙台ヤード (宮城)



大阪ヤード (大阪)



狭山事業場 (埼玉)



関第2工場 (岐阜)



海外展開を通じて、東アジアでNo. 1のリサイクラーへ



循環型ビジネスモデル（貴金属のリサイクル）で社会に貢献



松田産業の強み

高度な精製技術

一貫したリサイクルシステムによるフルレンジ提供

東アジアでのネットワーク確立

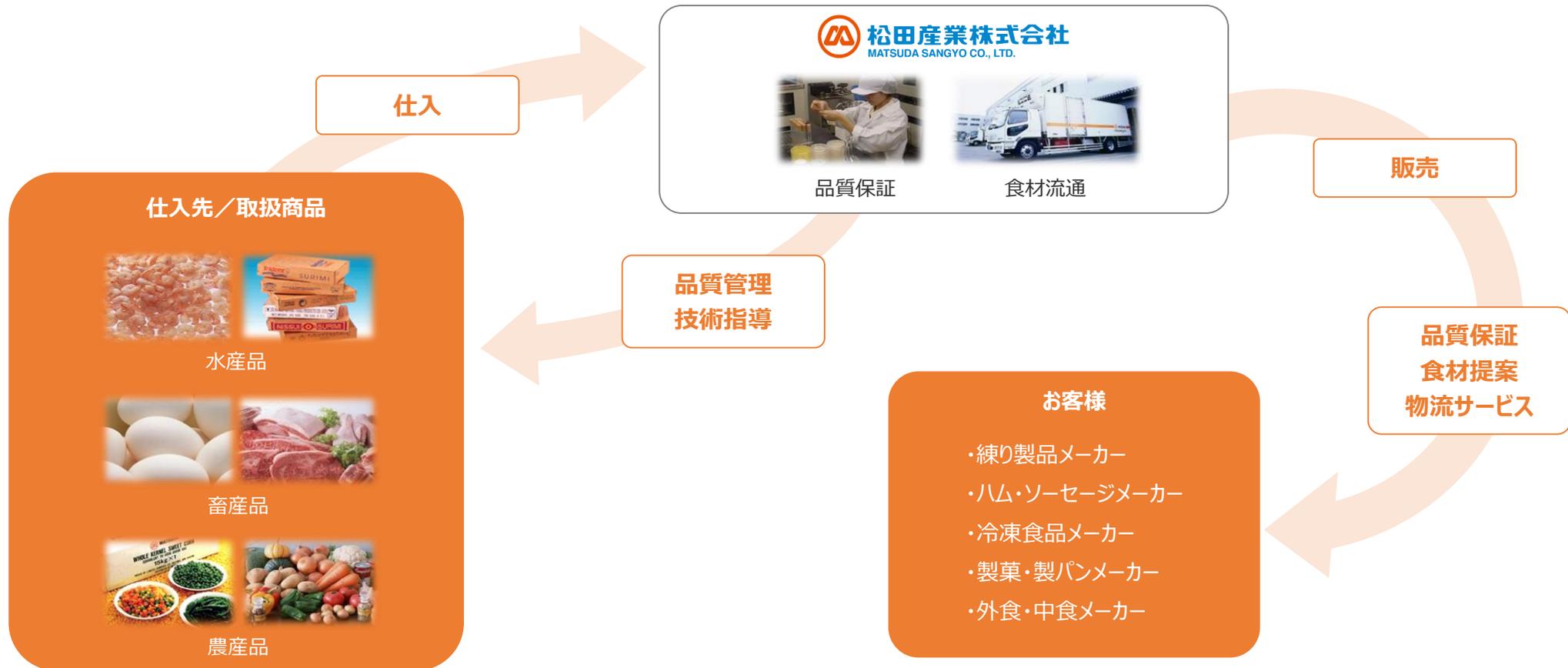
世界に通用するMATSUDAブランドの確立

循環型事業へのニーズの高まり

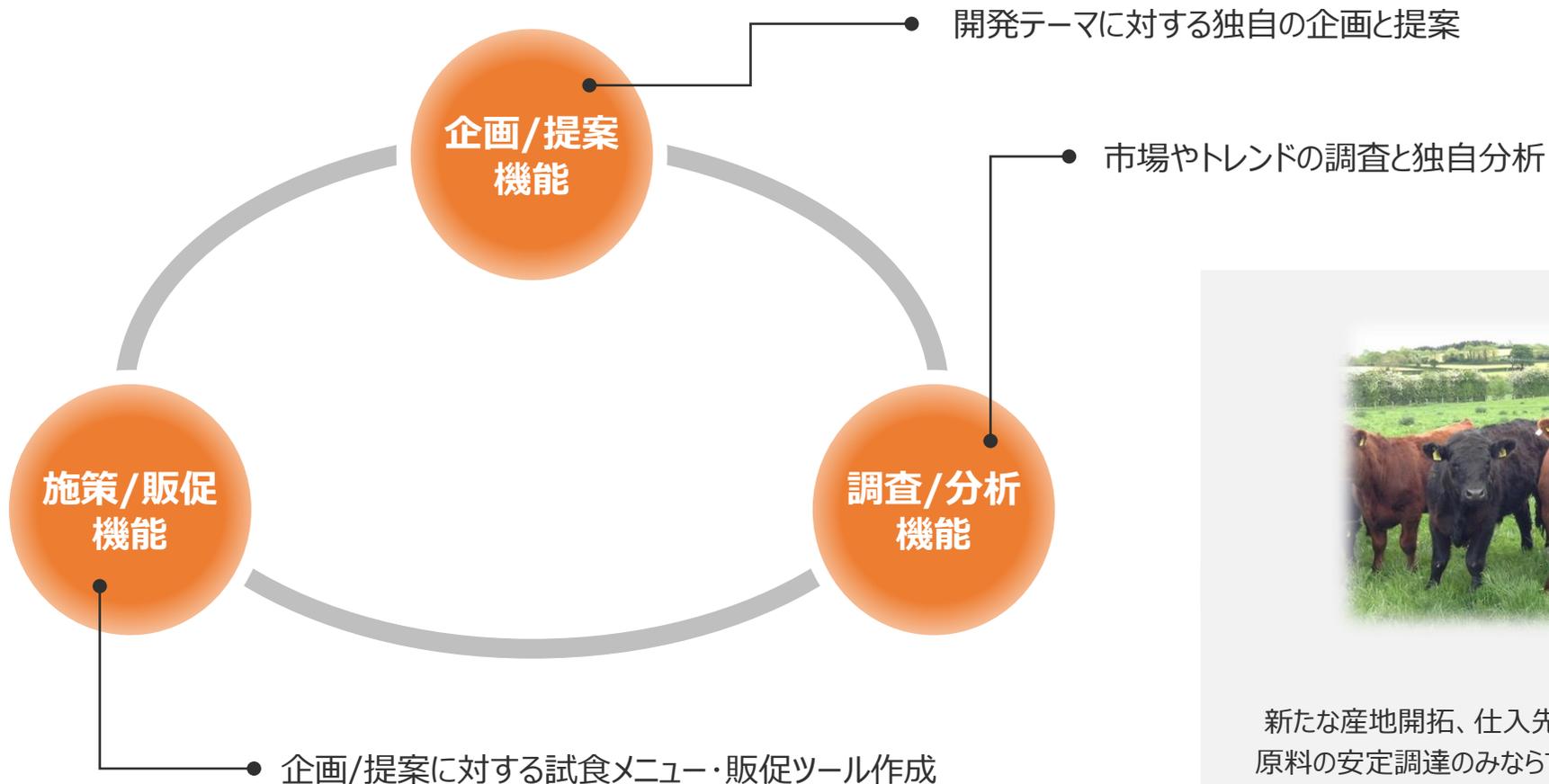
Vision

お客様の商品開発のベストパートナー

お客様のニーズにお応えし、徹底した品質管理のもと、世界各国の産地から安全安心な原材料を安定提供



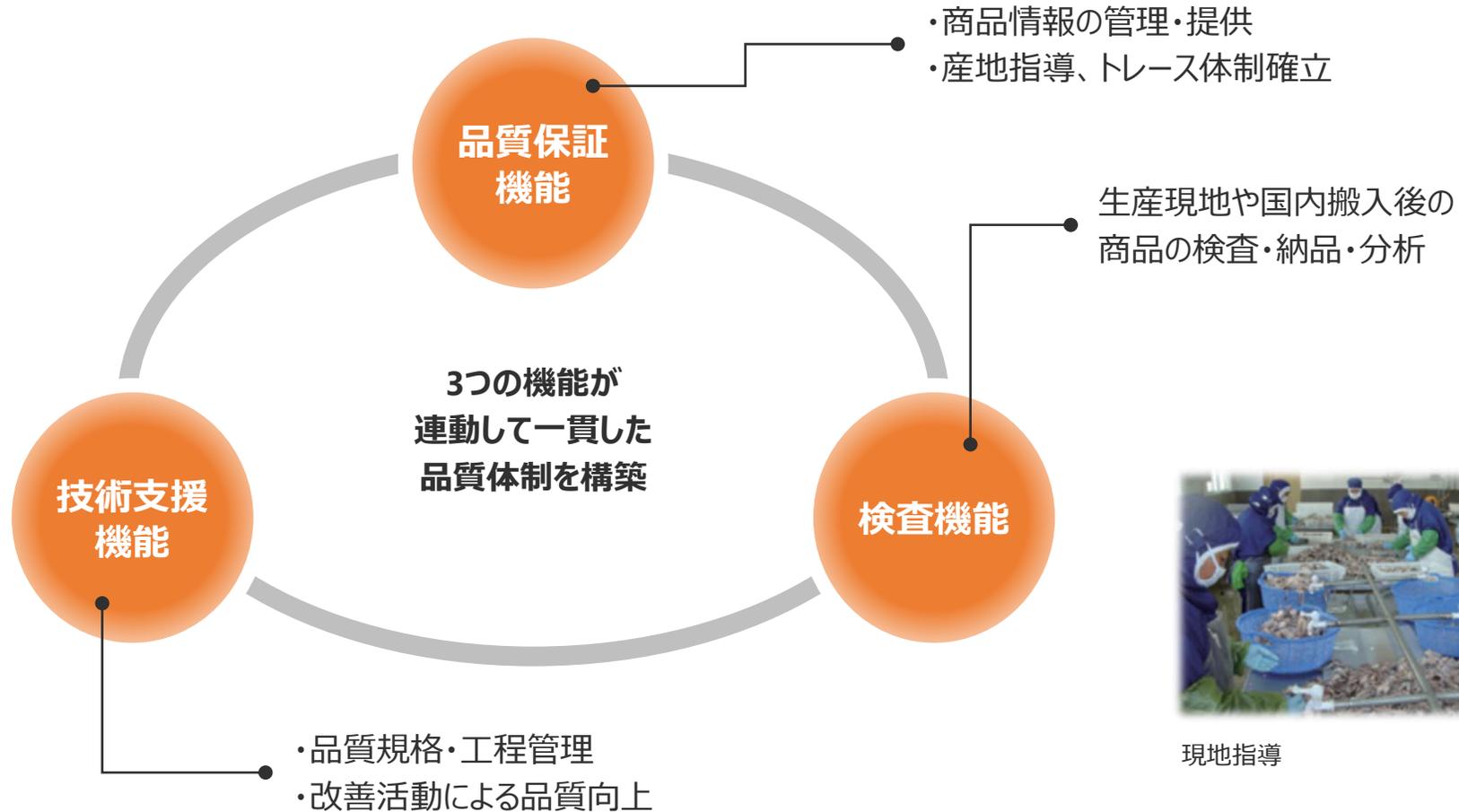
独自の市場分析やメニュー開発により、お客様のニーズにそった商品・メニューを企画・提案



北アイルランドの農地

新たな産地開拓、仕入先と連携し環境・社会課題に配慮
原料の安定調達のみならず、当社の食品関連事業における
SDGsの取り組み強化に繋がっています

お客様の求める品質の維持・向上と安全安心な商品の提供に取り組んでいます

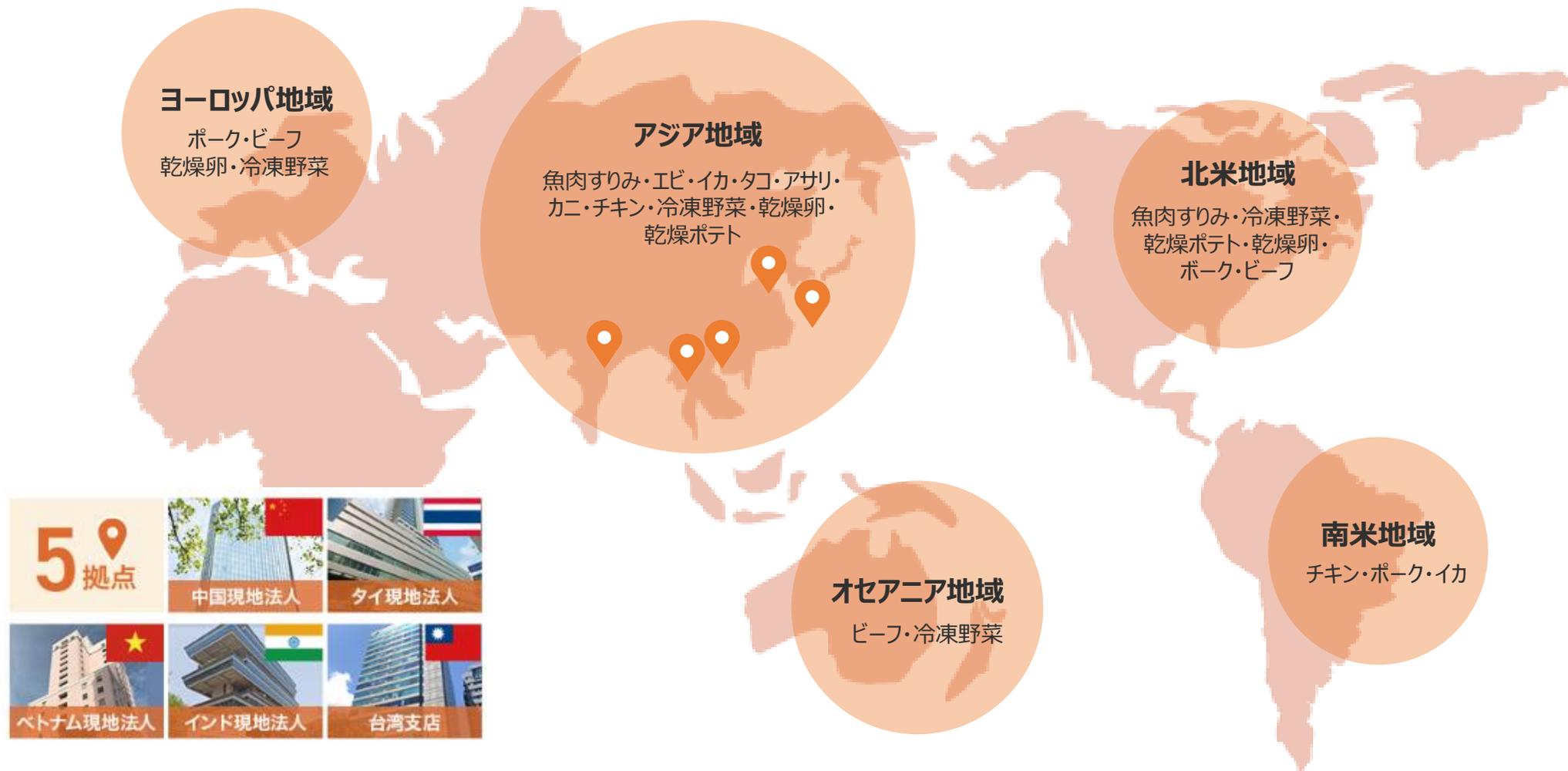


現地指導



品質保証室のサンプリング検査

グローバルなネットワークにより変化する業界のニーズに対応した食材を調達



食材の安定供給と資源の有効活用が2大使命



松田産業の強み

グローバルな調達ネットワーク

商品提案機能

納入前の現地加工と資源の有効活用

グローバルな品質管理体制

サプライチェーン全体管理による食の安定供給

3. 業績推移

4期連続で
増収増益
を実現
(利益は当期純利益)

連結売上高・営業利益
過去最高
3,510 億円 / **138** 億円

貴金属関連事業売上高
過去最高
2,465 億円

食品関連事業
売上高
初の**1,000** 億円超

ROE・ROA
経営目標を超える
12.2 % / **11.3** %
(目標 : ROE 9% ROA 10%)

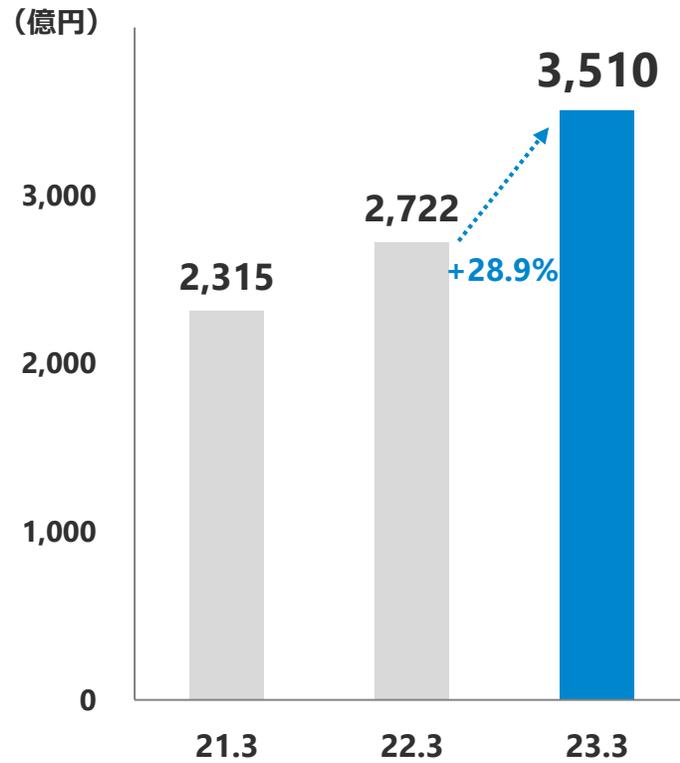
1株当たり配当金 (24/3期予想)
6期連続増配
60 円 (+10円)

4期連続で増収増益を実現し、過去最高の業績を更新。売上高は3,000億円を突破

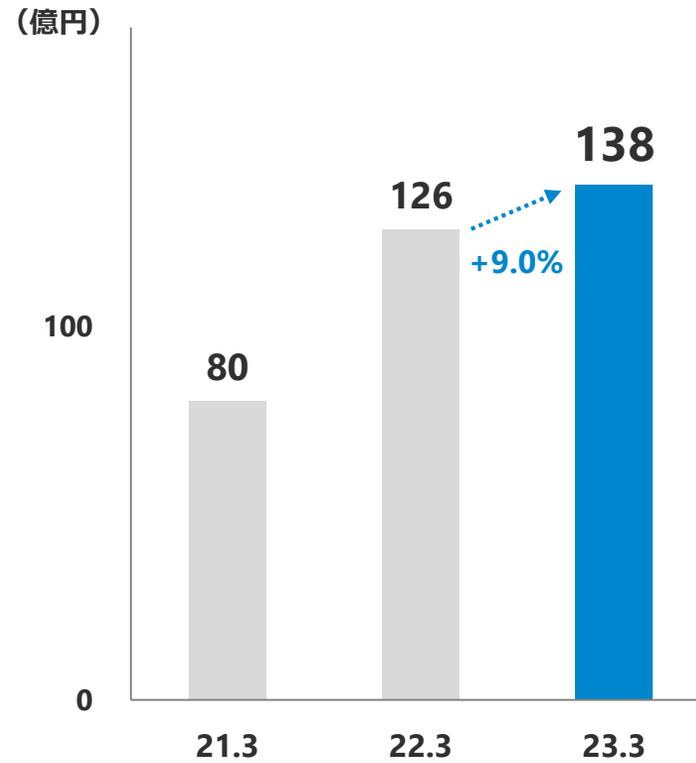
(億円)

| | 22年3月期 | 23年3月期 | 増減 | |
|----------------|--------|--------------|--------|--------|
| 売上高 | 2,722 | 3,510 | +787 | +28.9% |
| 営業利益 | 126 | 138 | +11 | +9.0% |
| 営業利益率 | 4.7% | 3.9% | ▲0.7pt | - |
| 経常利益 | 137 | 138 | +1 | +0.8% |
| 当期純利益 | 95 | 96 | +1 | +1.4% |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 366.4 | 371.7 | +5 | +1.4% |
| ROE | 13.7% | 12.2% | ▲1.5pt | - |

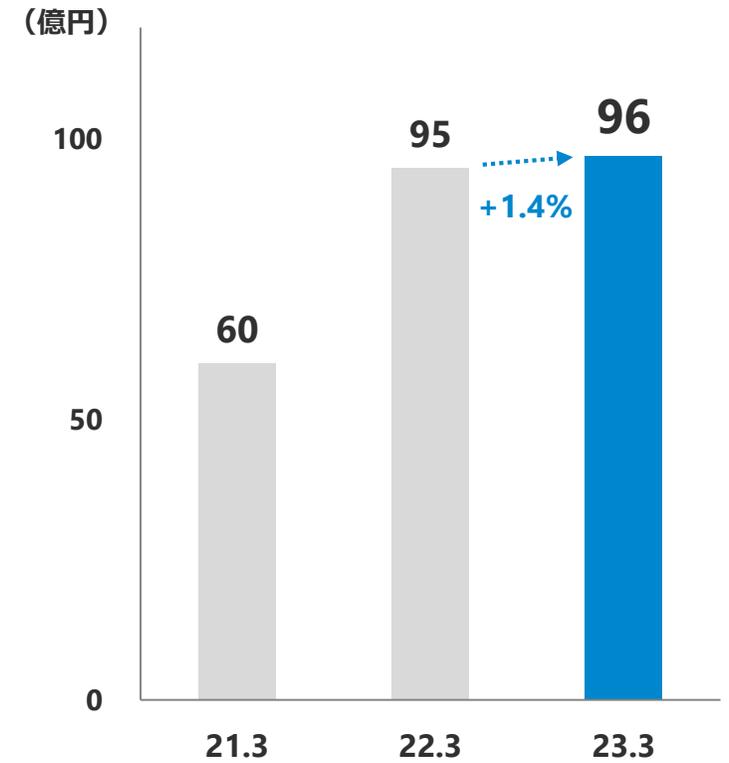
売上高



営業利益



当期純利益



連結貸借対照表

| 【資産の部】 | | (億円) | | |
|---------|--------|--------|------|----------------------------|
| | 22年3月末 | 23年3月末 | 増減 | 増減要因 |
| 流動資産 | 860 | 893 | +32 | (+) 取扱数量増加に伴う棚卸資産の増加 |
| 固定資産 | 297 | 398 | +101 | (+) 入間地区土地・建物、北九州市土地、ERP刷新 |
| 資産合計 | 1,157 | 1,292 | +134 | |
| 【負債の部】 | | | | |
| | 22年3月末 | 23年3月末 | 増減 | 増減要因 |
| 流動負債 | 335 | 278 | ▲56 | (-) 短期借入金の返済 |
| 固定負債 | 77 | 166 | +88 | (+) 設備投資を目的とする長期借入金の増加 |
| うち有利子負債 | 163 | 192 | +28 | |
| 負債合計 | 413 | 445 | +31 | |
| 【純資産の部】 | | | | |
| | 22年3月末 | 23年3月末 | 増減 | 増減要因 |
| 純資産合計 | 744 | 846 | +102 | (+) 利益剰余金の増加 |
| 負債純資産合計 | 1,157 | 1,292 | +134 | |
| 自己資本比率 | 64.2% | 65.4% | | |

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

| | 22年3月期 | 23年3月期 | 増減 | 増減要因 |
|----------------|--------|-------------|-----|---|
| 営業キャッシュ・フロー | 70 | 106 | +36 | (+) 税金等調整前当期純利益、減価償却費の増加 (-) 棚卸資産増加、法人税納付額増加 |
| 投資キャッシュ・フロー | ▲25 | ▲121 | ▲96 | (-) 固定資産の取得 |
| フリー・キャッシュ・フロー | 45 | ▲15 | ▲60 | |
| 財務キャッシュ・フロー | ▲22 | 13 | +36 | (+) 設備投資を目的とする長期借入金の増加 |
| 現金及び現金同等物の増減 | 25 | 3 | ▲21 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 113 | 117 | +3 | |

4. 成長戦略

23/3期も過去最高の業績を更新し、中期計画目標値を前倒しで達成

(億円)

| | FY16-18 平均 | FY19-21 平均 | FY22 実績 | FY23 予想 | FY25 目標 |
|-------------------|---------------|---------------|--------------------|------------|------------|
| 売上高 | 1,871 | 2,382 | 3,510 | 3,300 | 3,000 |
| 営業利益 | 42 | 90 | 138 | 90 | 130 |
| 営業利益率 | 2.2% | 3.7% | 3.9% | 2.9% | 4.3% |
| ROE | 5.6% | 10.0% | 12.2% | 7.3% | 9.0% |
| ROA (総資産経常利益率) | 6.0% | 9.4% | 11.3% | - | 10.0% |

基本方針

貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし…

- 積極投資の継続で**収益基盤強化**と**新規収益源の創出**
- 持続的成長を支え、加速させる**経営基盤の強化**
- **ESG経営**の推進で**企業価値向上**

顧客ニーズ

サーキュラエコノミー

リサイクル資源の活用

高品質・高効率・
安全供給

環境保全
(サステナビリティ)

資源リサイクルの
総合力と環境価値

環境負荷低減/
製品・サービスの提供

高機能電子材料/
開発・販売の強化

リサイクル技術の応用/
物流ネットワーク機能/
無害化処理技術/スキーム作り

技術開発/生産インフラ拡充/
品質管理体制の強化

シェア拡大
新規市場開拓
(国内・海外)

電子デバイス業界

化学/自動車業界

二次電池

E-スクラップ市場

資源循環（活用）を
創造する
リーディングカンパニー

顧客ニーズ

安全・安心な食材

安定供給

生産効率

サステナビリティ

商品開発&機能構築
&提案力

国内外の仕入先拡充/
商品ラインナップ

食品原材料販売
(コア)の強化

グローバルな商流・
スキームの構築

品質保証、技術支援の機能強化
/一貫した品質確保体制の構築

シェア拡大
新規市場開拓
(国内・海外)

冷凍食品業界

製菓・製パン業界

ハム・ソーセージ業界

水産練り製品業界

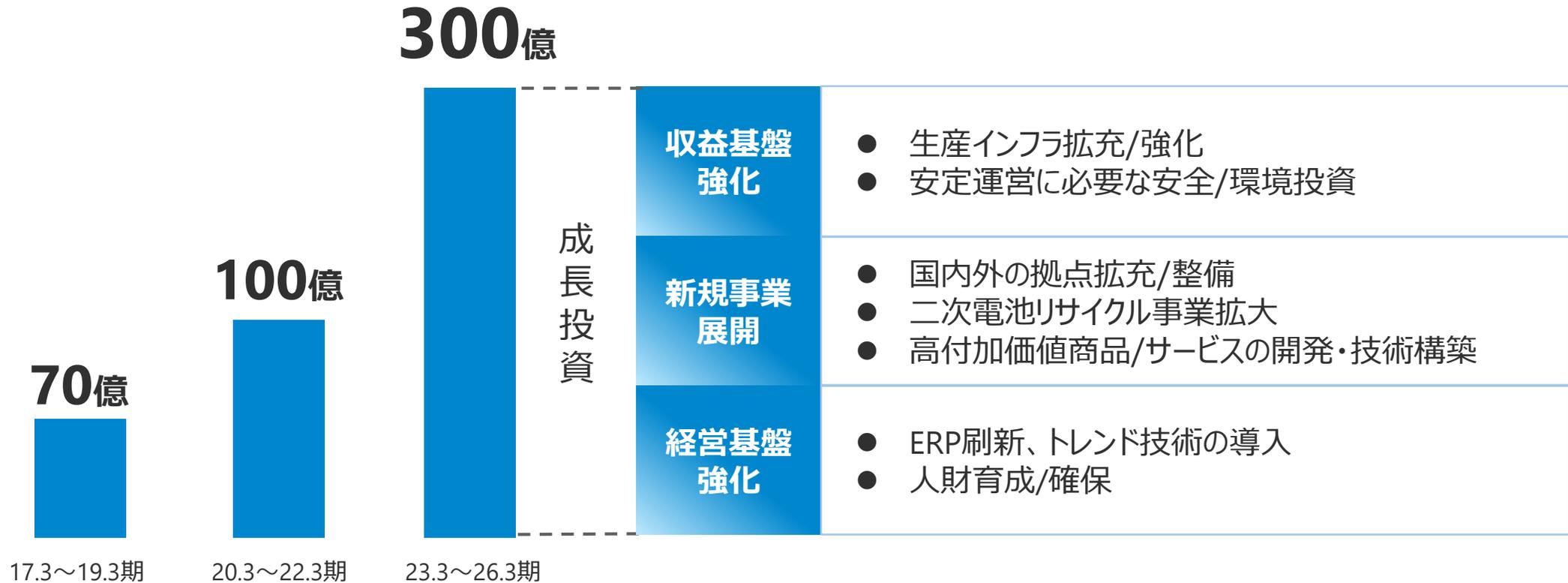
中食・外食業界

お客様の商品開発の
ベストパートナー

成長戦略（投資計画）

総額 **300億**
(4力年累計)

- 成長投資の積極的实施と営業C/Fの着実な確保で、更なる成長を実現
- 財務健全性及び株主還元のバランスを考慮し、経営資源を適確に配分



松田産業の重要課題（マテリアリティ）



環境

環境負荷低減と事業成長の両立

- ①エネルギー消費及び温室効果ガスの排出 ②大気への排出
- ③有害物質 ④固形廃棄物 ⑤汚染防止と資源削減
- ⑥水の管理 ⑦生物多様性



**品質
安全性**

お客様満足の向上と社会の信用確保

- ① 製品/サービスの正確な情報の提供
- ② 商品の安心・安全の確保
- ③ サプライチェーンマネジメント

**人権
労働**

多様な人財活躍による成長加速

- ①適材適所 ②ダイバーシティ&イノベーション
- ③ワークライフバランス



**組織
統治**

サステナビリティ委員会を設置し、グループ全体の取組を統制

- ① マネジメントシステム（ガバナンス） ②情報セキュリティ ③サプライヤーとのパートナーシップ

- 環境・品質安全性・人権労働を重要課題と位置付け、社会貢献と事業成長の両立を実現
- 重要課題に対する非財務目標については当社HPの統合報告書に記載

5. 株主還元

基本方針

成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

成長投資と営業C/Fの確保

- 収益基盤強化、新規事業展開、経営基盤強化に向け成長投資を積極的に実施
- 財務健全性及び株主還元のバランスを考慮し、経営資源を適確に配分

自己資本比率の維持

- 自己資本比率60%超を維持

事業機会
(成長投資)

持続的な
企業価値向上

財務健全性

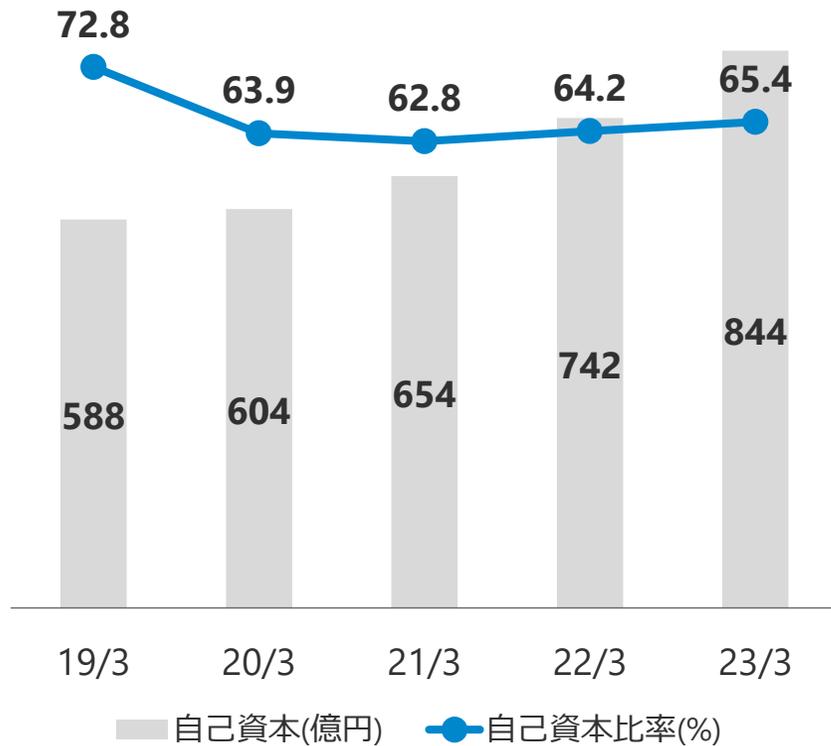
株主還元

安定かつ持続的な配当

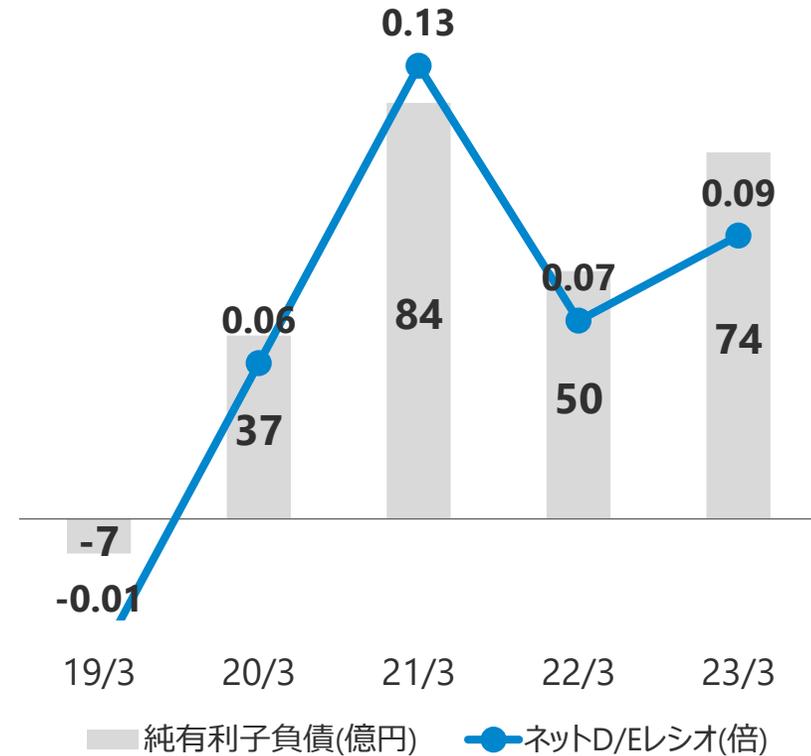
- 株主資本配当率(DOE)1.5%以上を目安にした還元

安定強固な事業運営を継続するため、健全な財務体質を維持

自己資本推移

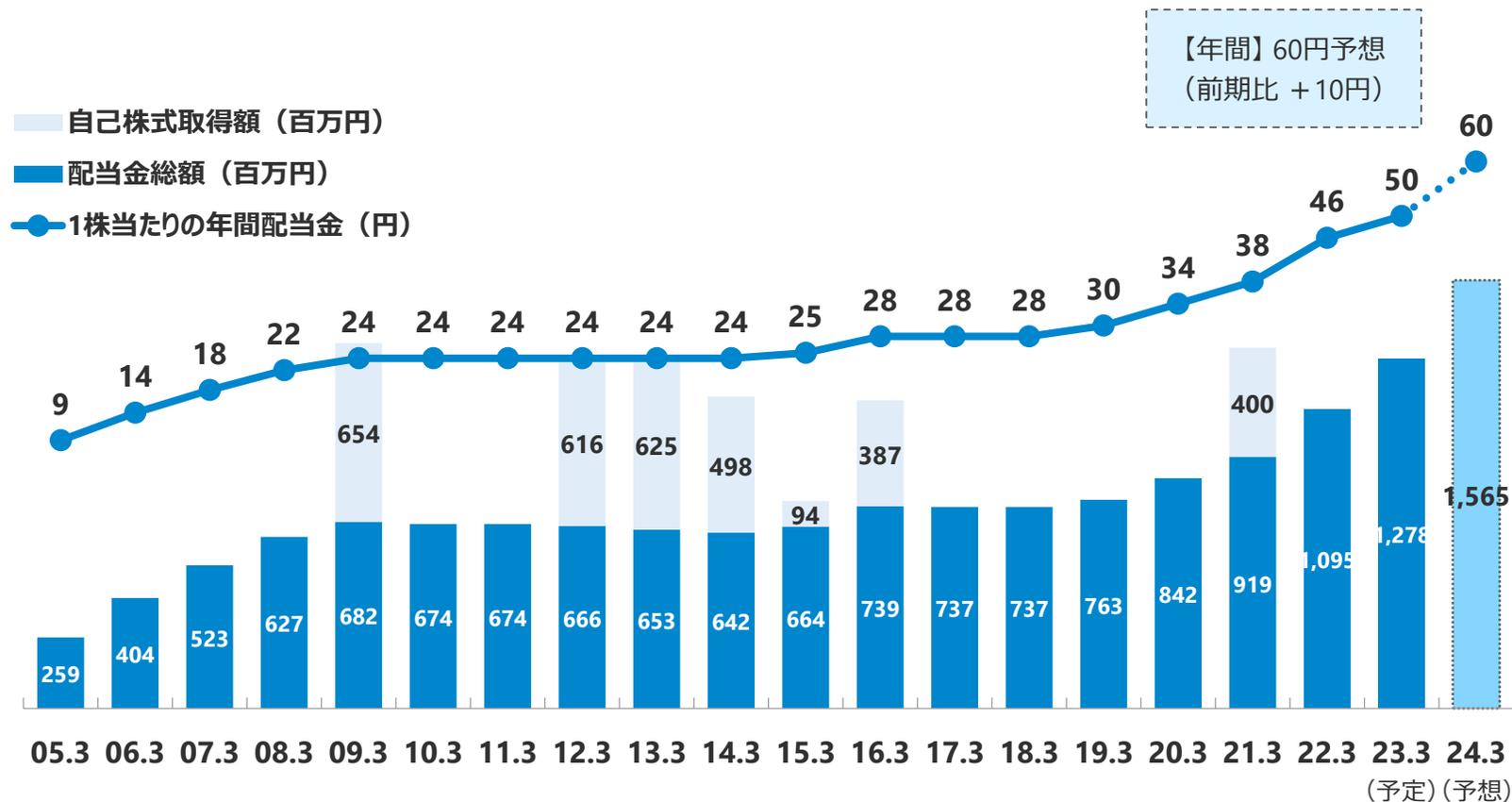


ネットD/Eレシオ



株主還元

- 成長投資の為の内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定且つ持続的な配当を実施
- 株主資本配当率1.5%以上を目安とした還元
- 市場環境を勘案した機動的な自己株式取得



オリジナルQUOカード

3月末基準100株以上を1年以上継続保有でQUOカード2,000円相当を贈呈

※ ご希望の株主様には、自社オリジナルカレンダーも贈呈





松田産業株式会社

MATSUDA SANGYO CO., LTD.